

プログラム (敬称略)

9時30分 《一般演題》 — 座長 — 島山奈緒子

1. 日本における打膿の展開 — 経過報告パート3 谷田保啓 (名古屋市)
2. 土肥慶藏著『世界黴毒史』文献からの起源について
高橋正子 (名古屋市)
3. 『傘灸』の考証 姜 姍 (京都市)
4. 岡山大学鹿田図書館所蔵の尾張浅井家関連医書群について
松木宣嘉 (高松市)

10時35分 — 座長 — 田中祐尾

5. 神戸時代のラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の眼を診察した
エドワード・パピリエル医師 飯塚修三 (西宮市)
6. 曲直瀬正純の『亨徳院累系并由緒』について 今井 秀 (豊中市)
7. ルイス・デ・アルメイダとトードス・オス・サントス王立病院
相川忠臣 (長崎市)
8. 中世イスラム世界の「心の医学」の展開と特質について
尾崎貴久子 (横須賀市)

11時40分 関西支部総会

支部長挨拶 猪飼祥夫
事務局長報告・伝達 田中祐尾
『医譚』賞 横浜商科大学准教授 久保輝幸
牡丹芍薬の本草学的研究、『本草概説』中訳本の成果

————— 昼休み —————